

「中学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

※レギュラー・ジュニアの部

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備考
投手A	80	0	80	0	80	0	80球投げた翌日には登板していないため、翌々日には80球投球できる。 (打者終了時に80球を超えても、1試合分の最大カウント数は80球)
投手B	80	40	休	80	0	80	一日目80球、二日目40球で連続する2日間で120球となったため、三日目は投手・捕手として出場できない。(※また、2日間で80球を超えているので三日目は捕手として出場できない規定もある。投手D参照)
投手C	40	40	35	休	80	40	3日間連続40球以内であれば登板可能。ただし球数に関わらず3日間連続登板した場合は、四日目は投手・捕手として出場できない。 四日目が休みだったので、五日目80球、六日目40球の投球は可能。
投手D	40	45	休	30	60	休	一、二日目で80球を超えたため、三日目は投手・捕手として出場できない。 四、五日目で連続する2日間で80球を超えているため、六日目の3日間連続登板および捕手として出場できない。
投手E	40	40 40	休	80	0 40	休	一、二日目で40球以内の3連投をしているため、三日目は投手・捕手として出場できない。四日目は80球のため五日目は投球した時点から1試合目に登板してなくても連続する2日間で80球を超えるため六日目は投手・捕手として出場できない。
投手F	30 50	休※捕手可	40 40	40	休	80	ダブルヘッダーで80球以内であっても、どちらかの試合で40球を超えた場合は、3連投できないが、※連続した2日間で80球以内なので、翌日は捕手としては出場できる。 第3日目からの3連投は40球以内なので可能であるが、3連投した投手は投手・捕手として出場できない。
投手G	40 40	40 休	休	0 40	40 40	休	3連投は40球以内なので可能であるが、第二日目第二試合・第六日目は投手・捕手として出場できない。 また、3連投する場合、1試合目・2試合目は打者の途中でなくても40球以内に交代しなければならない。

「小学生投手の投球制限統一ガイドライン」の適用例

※レギュラー・ジュニアの部

	第一日目	第二日目	第三日目	第四日目	第五日目	第六日目	備考
投手A	70	0	70	0	70	0	70球投げた翌日には登板していないため、翌々日には70球投球できる。 ※打者終了時に70球を超えても、1試合分の最大カウント数は70球
投手B	70	35	休	70	0	70	連続する二日で105球の制限があるため、一日目70球投球した場合、二日目は35球が最大となる。
投手C	30	30	休	40	65	休	1日の最大投球数70、かつ連続する2日間105球未満だが、3連投禁止のため、第三日目は登板できない。※捕手としては出場可能
投手E	50 20	休	70	0	70	0	ダブルヘッダーの登板は可能だが、1日70球制限のため、第一日目の1試合目に50球投球した場合、2試合目は20球が最大となる。 また、ダブルヘッダーで2試合登板した場合、連続する2日間投球を行ったことになるため、第二日目は登板できない。※捕手としては出場可能
投手F	35	0 70	休	70	35 休	休	第一日目(第四日目)に登板しているため、第二日目(第五日目)のダブルヘッダーは、1試合目、2試合目どちらかしか登板できない。加えて、3連投禁止のため、第三日目(第六日目)は登板できない。 ※捕手としては出場可能 連続する二日で105球の制限があるため、第二日目は70球、第五日目は35球が最大となる。

【小学生・中学生 共通事項】

※打席の途中で制限数がきた場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。制限数を超過した球数は投球数にカウントしない。
※数字は投球数。「休」は投手・捕手として出場できない日。(小学生は捕手の出場は可)「0」は登板しなかった試合。
※指導者は、公式戦だけでなく、練習試合も対象となっていることを認識する。

2日間で3試合に登板するときの注意点

※2日間で3試合登板するには、1試合でも40球より多く投げてはいけない。40球は大丈夫です。41球はダメ。

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
39球	40球	40球	投球禁止(捕手不可)
打者の途中で交代が必要。	1日の投球数が79球で上限投球数の80球に達していないため、2試合目で40球を投球した時点で降板をしないと2日目に投球できない。打者の途中で交代が必要。	2日間で119球の投球であるが3連投目の40球の制限が来たので最後の打者として打ち取るまで投球可能	
40球	40球	投球不可	投球禁止(捕手不可)
打者の途中で交代が必要。	但し1日の投球上限が80球のため、最後の打者は打ち取るまで投球可能。上限以上の投球数はカウント数は加算しない。	前日ダブルヘッダーの当番で最後の打者として実質40球を超えて投球したので投球不可(前日2試合とも40球以下であれば3連投として投球可能)	

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
39球	40球	休	40球
打者の途中で交代が必要。	1日の投球数が79球で上限投球数の80球に達していないため、2試合目で40球を投球した時点で降板をしないと2日目に投球できない。打者の途中で交代が必要。		同上 最後の打者として40球超えて投球可能
40球	40球	投球不可	投球不可
打者の途中で交代が必要。	但し1日の投球上限が80球のため、最後の打者は打ち取るまで投球可能。上限以上の投球数はカウント数は加算しない。		

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
39球	無	40球	40球
打者の途中で交代が必要。		打者の途中で交代が必要。	同上 最後の打者として40球を超えて投球可能
40球	無	40球	40球
打者の途中で交代が必要。		打者の途中で交代が必要。	3連投扱いとし3連投の投球可能数が40球、最後の打者に超えて投球可能である。

第1日目		第2日目	
第1試合	第2試合	第1試合	第2試合
休	39球	40球	40球
	打者の途中で交代が必要。	打者の途中で交代が必要。	2日間で119球であるが3連投の3日目40球の制限であるため最後の打者に超えて投球可能
休	40球	40球	40球
	打者の途中で交代が必要。	打者の途中で交代が必要。	2日間の投球上限数が120球のため、最後の打者は打ち取るまで投球可能。上限以上の投球数はカウントしない。

投手投球数記録表(正)

大会名 _____ 大会 _____

チーム名(小・中) _____ ボーイズ _____

(表)

		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							

◎投手投球回数記録表(正)は当該大会が終了するまで保管し各試合の球場責任者に提出・引継ぎすること。裏表で足りない場合は2枚使用する。
◎投手投球回数記録表(副)3部は各チームが記入し各試合ごとに球場責任者に提出すること。副1枚は球場責任者が最終試合まで引き継ぐこと。
◎翌日の試合以降、投手投球回数記録表(正)と(副)3部は球場責任者または各チームが翌日の球場責任者に提出すること。

		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							
		月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
背番号	投手氏名	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦	第 回戦
各試合ごとの球数		球	球	球	球	球	球
翌日・第二試合投球可能数		球	球	球	球	球	球
球場責任者確認署名欄							

【中学生レギュラーの部・ジュニアの部 投球制限ガイドライン】

- ①1日最大80球とし、連続する2日間で120球以内とする。連続する2日間で80球を超えた場合は、3日目は投球を禁止する。
また3連投(連続する3日間)する場合は、1日の投球数を40球以内とし、4連投(連続する4日間)は禁止する。
- ②大会中は1日80球以内とし、翌日投球を休めば3日目は80球の投球を可能とする。
- ③基本原則①～②とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ④連続する2日間で80球を超えた投手並びに3連投した投手は、翌日は捕手としても出場できない。
※ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は、連続2日間投球したこととする。1試合のみの投球の場合は1日とする。
※中学生ジュニアの部は別途ガイドラインを参照

【小学生レギュラーの部・ジュニアの部 投球制限ガイドライン】

- ①1日最大70球とし、連続する2日間で105球以内とする。
また、3連投(連続する3日間)は禁止する。
- ②大会中は1日70球以内とし、翌日投球を休めば3日目は70球の投球を可能とする。
- ③基本原則①～②とするが、打席の途中で制限数が来た場合は当該打者の打席終了までは投球を認める。
制限数を超過した球数は投球にカウントしない。
- ※小学生ジュニアの部(5年生～4年生)、キッズの部(4年生以下)は別途ガイドラインを参照
※ダブルヘッダーの場合で2試合に登板した場合は、連続2日間投球したこととする。1試合のみの投球の場合は1日とする。
- 投球数のカウントについて
- ◎ボークは投球数としない。(ただし走者なしの場合のボークで投球動作中にボールが手から飛び出し、ファウルラインを超えて「ボール」と宣告された投球数はカウントする。)
- ◎当該打者へ申告敬遠を行ってからの投球数はカウントしない。
- ◎雨などでノーゲームになった試合は投球数にカウントする。

投手投球数記録表

大会名 _____ 大会

_____ 年 月 日

球場名 _____

対戦 _____ 対 _____ (_____ 回戦)

チーム名(小・中) _____ ボーイズ

背番号	投手名	月 日
		(翌日・二試合目)
		投球可能球数
		球
		球
		球
		球
		球

★連盟の投手投球数ガイドライン及び投手投球数制限の運用細則を遵守すること

公益財団法人 日本少年野球連盟